



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場会社名 株式会社 豊田自動織機
コード番号 6201 URL <http://www.toyota-shokki.co.jp/>

上場取引所 東 大名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 豊田 鐵郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 小河 俊文

TEL 0566-22-2511

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,106,820	10.9	54,705	404.8	62,623	177.3	39,188	236.3
22年3月期第3四半期	997,888	△23.7	10,837	△42.5	22,580	△53.4	11,653	△57.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	125.78	—
22年3月期第3四半期	37.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,424,649	1,046,148	41.2	3,208.97
22年3月期	2,589,246	1,104,929	40.8	3,390.02

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 999,805百万円 22年3月期 1,056,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
23年3月期	—	25.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,480,000	7.4	65,000	195.4	70,000	120.4	41,000	—	131.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料 3 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期3Q | 325,840,640株 | 22年3月期 | 325,840,640株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 14,274,445株 | 22年3月期 | 14,269,943株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期3Q | 311,569,120株 | 22年3月期3Q | 311,574,053株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に関わるリスクや不確実性により、予想と大きく異なる可能性があります。
- ・為替レートにつきましては、第4四半期は1USドル80円、1ユーロ110円を前提としております。
- ・業績予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(添付資料)

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を1,090億円(11%)上回る1兆1,068億円となりました。

これをセグメントについてみますと、自動車部門におきましては、売上高は前年同期を545億円(10%)上回る6,110億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツは増加したものの、RAV4・マークXジオの減少などにより、売上高は前年同期並みの2,864億円となりました。

エンジンにつきましては、KD型ディーゼルエンジンやAR型ガソリンエンジンなどが増加したことにより、売上高は前年同期を361億円(31%)上回る1,513億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内・海外ともに増加したことにより、売上高は前年同期を162億円(13%)上回る1,431億円となりました。

産業車両部門におきましては、フォークリフトトラックが国内・海外ともに増加したことにより、売上高は前年同期を394億円(12%)上回る3,582億円となりました。

物流部門におきましては、自動車部品などの運送事業や集配金サービス事業は堅調に推移し、売上高は前年同期並みの811億円となりました。

繊維機械部門におきましては、エアジェット織機が中国向けで増加したことにより、売上高は前年同期を174億円(138%)上回る299億円となりました。

利益につきましては、原材料の値上がり、為替変動による影響、人件費の増加、営業外収支の減少はありましたものの、売上げの増加に加え、スリム化した会社の構えを維持したことにより、営業利益は前年同期を439億円(405%)上回る547億円、経常利益は前年同期を401億円(177%)上回る626億円、四半期純利益は前年同期を275億円(236%)上回る391億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、投資有価証券の時価評価額の減少などにより前期末に比べ1,646億円減少し、2兆4,246億円となりました。また、純資産につきましても同様に、前期末に比べ588億円減少し、1兆461億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、連結売上高は1兆4,800億円、営業利益は650億円、経常利益は700億円、当期純利益は410億円を見込んでおります。

なお、為替レートにつきましては、第4四半期は1USドル80円、1ユーロ110円を前提としております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）を適用し、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	177,883	287,965
受取手形及び売掛金	147,462	163,708
有価証券	164,920	71,391
商品及び製品	39,833	37,358
仕掛品	28,126	25,672
原材料及び貯蔵品	28,471	25,318
繰延税金資産	13,846	17,182
その他	64,556	47,307
貸倒引当金	△2,856	△3,103
流動資産合計	662,245	672,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	160,230	169,991
機械装置及び運搬具（純額）	184,729	212,079
工具、器具及び備品（純額）	22,699	21,840
土地	119,065	119,517
建設仮勘定	9,680	8,547
有形固定資産合計	496,405	531,977
無形固定資産		
のれん	66,658	72,745
ソフトウェア	9,502	9,976
無形固定資産合計	76,160	82,722
投資その他の資産		
投資有価証券	1,082,515	1,162,685
長期貸付金	5,022	5,554
繰延税金資産	9,737	10,429
その他	92,767	123,278
貸倒引当金	△204	△202
投資その他の資産合計	1,189,838	1,301,744
固定資産合計	1,762,404	1,916,444
資産合計	2,424,649	2,589,246

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,850	141,787
短期借入金	58,257	46,241
コマーシャル・ペーパー	15,805	9,575
1年内償還予定の社債	—	50,446
未払金	12,700	13,149
未払法人税等	12,781	15,014
繰延税金負債	249	316
役員賞与引当金	327	310
その他	189,686	158,100
流動負債合計	425,659	434,941
固定負債		
社債	236,298	231,401
長期借入金	275,568	299,208
リース債務	76,277	108,014
繰延税金負債	305,133	351,009
退職給付引当金	45,848	45,234
その他	13,716	14,507
固定負債合計	952,841	1,049,375
負債合計	1,378,501	1,484,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	106,179	106,179
利益剰余金	403,815	378,648
自己株式	△50,699	△50,689
株主資本合計	539,757	514,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	476,412	544,068
繰延ヘッジ損益	114	△9
為替換算調整勘定	△16,479	△2,430
評価・換算差額等合計	460,047	541,628
新株予約権	1,966	1,720
少数株主持分	44,375	46,978
純資産合計	1,046,148	1,104,929
負債純資産合計	2,424,649	2,589,246

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	997,888	1,106,820
売上原価	868,806	934,522
売上総利益	129,081	172,297
販売費及び一般管理費	118,243	117,592
営業利益	10,837	54,705
営業外収益		
受取利息	8,208	6,831
受取配当金	15,259	14,949
その他	6,316	5,192
営業外収益合計	29,784	26,973
営業外費用		
支払利息	13,652	11,864
その他	4,388	7,191
営業外費用合計	18,040	19,055
経常利益	22,580	62,623
特別損失		
産業車両の事業構造再編に伴う損失	3,760	—
特別損失合計	3,760	—
税金等調整前四半期純利益	18,819	62,623
法人税、住民税及び事業税	4,892	19,305
法人税等調整額	708	2,874
法人税等合計	5,601	22,180
少数株主損益調整前四半期純利益	—	40,443
少数株主利益	1,564	1,255
四半期純利益	11,653	39,188

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、14,020百万円の剰余金の配当を行っております。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	556,529	318,898	81,333	12,593	28,533	997,888	—	997,888
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,002	684	4,150	44	7,763	21,645	△21,645	—
計	565,532	319,583	85,483	12,637	36,296	1,019,533	△21,645	997,888
営業利益又は営業損失(△)	12,068	△5,890	3,368	△1,981	2,910	10,475	361	10,837

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	611,033	358,263	81,109	29,936	26,476	1,106,820	—	1,106,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,138	551	5,582	2	7,274	29,549	△29,549	—
計	627,172	358,814	86,692	29,939	33,750	1,136,369	△29,549	1,106,820
セグメント利益	25,937	19,853	4,126	1,993	2,512	54,424	280	54,705

- (注) 1 各報告セグメントおよび「その他」の区分に属する製品およびサービスの種類
自動車 …………… 車両、エンジン、カーエアコン用コンプレッサー、鋳造品、電子機器
産業車両 …………… フォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、高所作業車
物流 …………… 陸上運送サービス、集配金・売上金管理サービス、情報保管管理・集配サービス
繊維機械 …………… 織機、紡機
その他 …………… 半導体パッケージ基板
- 2 セグメント利益の調整額280百万円は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。